

各賞一覧

賞名	開始年	内容
野間児童文芸賞	昭和38年（1963）～	講談社初代社長、野間清治の遺志により設立された財団法人野間文化財団の公共の事業として、野間文芸賞に包含されていた児童部門を独立させて制定。児童向けの文学やノンフィクションを対象に優秀な作品に贈られる。
小学館児童出版文化賞	昭和27年（1952）～	児童出版文化の向上に貢献すると認められる作品及び作家を毎年選定し顕彰する。小学館の創業30周年を記念し1952年に創設された小学館文学賞と小学館絵画賞という二つの賞を、1996年に小学館児童出版文化賞として発展的に統合。
坪田譲治文学賞	昭和59年（1984）～	岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の業績をたたえと共に、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資する目的で創設。大人も子どもも共有できる世界を描いた文学作品に贈られる。
絵本にっぽん賞・日本絵本賞	昭和53年（1978）～	絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与するために創設。
講談社出版文化絵本賞	昭和45年（1970）～	講談社出版文化賞は、講談社創業60周年を記念して、さし絵、写真、ブックデザイン、児童漫画、絵本の5部門において、新分野の開拓と質的向上をはかり、出版文化の発展に寄与することを目的に創設。
ひろすけ童話賞	平成元年（1989）～	日本のアンデルセンと謳われた日本児童文芸家協会初代会長、浜田広介の業績をたたえて創設。新たなる童話世界の創造と発展に資する、特に優れた幼年童話を創作した作家を顕彰している。
カーネギー賞	1973年～	2,800以上もの図書館の設立に携わったスコットランド生まれの慈善家、アンドリュー・カーネギーにちなんで創設。